

とっくりがま



発行：放送大学山口学習センター 平成30年10月発行 第84号

— 目次 —

- 『効果的なウォーキングの方法』 山口学習センター客員教授 塩田正俊・・・1
- 『放送大学でいつまでも学びたい』 富山淳子・・・2
- 事務室からのお知らせ・・・3
- 図書・視聴学習室からのお知らせ・・・10
- 10月～12月のスケジュール・・・11



< 機関紙「とっくりがま」の由来 >

明治14年、小野田セメント製造会社（現・太平洋セメント株式会社）が創立され、明治16年から焼成炉4基の窯によって生産が始まりました。高さ9.6m、煉瓦を積み上げて作った立窯で、徳利に似ていることから「徳利窯」と呼ばれるようになりました。日本近代の洋式セメント製造法を伝える唯一の遺構で、重要文化財に指定されています。

山口学習センターが生涯学習の中核として、ますます発展することを願い、この「徳利窯」にあやかり、機関紙名を『とっくりがま』と命名しました。

（山口学習センターは平成9年に山陽小野田市に開設され、平成23年に山口市に移転しました。）



〒753-0841 山口市吉田1677-1
(山口大学吉田キャンパス学生会館1F)

T E L: 083-928-2501

F A X: 083-928-2503

E - m a i l: yamasc35@ouj.ac.jp

ホームページ: <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamaguchi/>



学習センターの利用時間

- ◆通常期 9:00～17:30
- ◆単位認定試験期間 9:00～19:00

平成30年10～12月の閉所日

- ◆毎週月曜日、祝日
- ◆特別閉所日: 10/28(日)
12/29(土)～12/31(月)

『効果的なウォーキングの方法』

山口学習センター客員教授 塩田 正俊

健康のために何か運動していますか。

とは言え、今年の夏は大変暑く、とても運動しようとは言いづらかったのですが、9月に入り朝晩は少し涼しくなってきました。少しでも涼しい時に「散歩・散策」に出てみませんか。小さな秋が見つかるかもしれません。

さて、今回は「適度な運動とは」というテーマで話をさせていただきました。今回は「効果的なウォーキングの方法」というテーマで話したいと思います。



ウォーキングで効果を上げるためには「1日10,000歩、歩きましょう。」はよく聞くところですが、最近、ウォーキング方法として、病気予防のために病気別に必要なウォーキングの歩数(Aoyagi et al, 2010, Nakanojo Study)が報告されています。研究では、群馬県中之条町の65歳以上の高齢者5,000人を対象に、13年間という長期にわたり、1年間の平均歩数(1日)・平均中強度活動時間(1日)と有病率の関連性が調べられ、歩数と中強度活動時間が増すごとに有病率が低くなることがわかってきました。その中で青柳らは、「各病気の予防ラインとして1日8,000歩・中強度活動時間20分の歩行が生活習慣病や認知症を予防し、健康づくりに効果的である」ことを明らかにしています。この報告の中では具体的に、各病気の予防ラインとして「うつ病の予防」には4,000歩以上・中強度活動時間5分以上、「認知症、心疾患、脳卒中の予防」には5,000歩・7.5分以上、「がんや骨粗鬆症の予防」には7,000歩・15分以上、「高血圧症、糖尿病の予防」には8,000歩・20分以上が病気予防に効果的な歩数であると報告しています。しかし1日の歩数や活動時間が多ければ多いほど健康によいというわけではなく、病気の予防効果は1日1万2,000歩・中強度活動時間40分が頭打ちで、これ以上の過度な運動は、ストレスになって免疫機能を下げリスクもあると言っています。

ここで出てくる「中強度活動時間」ですが、その強度は3～5 Metsで、例えばウォーキングの速度を例にとると「ゆっくりした歩行(平地、遅い=54m/分)」では2.5 Mets程度で3 Metsに足りず、「やや速く歩く・90m/分」程度の歩行速度で4 Mets程度になります。時速5.4 kmほどの速度ですから、結構きついと思います。この「やや速く歩く・90m/分」程度の歩行速度は、骨の成長に刺激となる力、歩くときに地面から受ける反発力が2G(垂直荷重衝撃度)程度になり、「骨粗鬆症」の予防に効果的のようです(廣中主司, 1998)。Aoyagi et alが推奨する「がんや骨粗鬆症の予防」には7,000歩以上で、そのうち15分以上は「やや速く歩く・90m/分」必要がありそうです。

速歩きについては、Studenski et al. (2011)も「歩行速度とその後の平均余命との関係」について検討し、同じ歳でもその時の歩行速度が速いもののほうが平均余命が長くなることを予測しています。また、Feldman et al. (2015)は、体力レベルが10メッツ以上の高い健康人37,855名を対象にし、日頃の運動強度(10～11メッツ:62%、12～13メッツ:33%、14メッツ以上:5%)と全死因死亡率との関係を調べた結果、30歳～65歳以上の年代では強度の強い運動を行っているグループほど死亡率は低くなり、Moderate(中等度強度)～vigorous(激しい)な運動を推奨する現行の身体活動ガイドラインを支持した結果になったと報告しています。

今また、強い強度の運動効果が見直されつつあります。以前は「安全性の面」から運動強度は、強度の強い「ランニング」から「ジョギング」、さらには「ウォーキング」へと変化してきました。最近の傾向は「効果の面」から再び「ランニング」の効果が注目を集めてきているようです。

さて、ウォーキングを実践されている皆さん、今の「ウォーキング」の内容(速度)はいかがですか。



『 放送大学でいつまでも学びたい 』

全科履修生 生活と福祉コース 富山 淳子



私が放送大学を知ったのは、あと3年で定年退職を迎えるころでした。

過酷な仕事で毎日夜9時過ぎまで残業があたりまえの時代、そんな中で専門学校を出たばかりの女性仲間が、放送大学で学んでいました。その頃の私は、何の役にも立たない中間管理職で、心も身体もボロボロで、彼女を見習うゆとりがありませんでした。

結局、身体が続かず早めに退職致しました。両親の介護はありましたが、とにかく放送大学に入学し、その後の生活設計を立てました。手編み教室、スポーツジムなど。

65歳を向かえた時、突然「独居老人」として民生委員の訪問を受けました。老人仲間に入りたくないものの、「町内の花壇当番の仲間に入ってくれませんか？」とのお誘いに断ることもできず引き受けました。ところがこれが「老人会」だったのです。それから老人会の会計、それが終わったら700世帯以上もある町内会の会計、そしてマンション住まいのため、輪番で来る理事会役員等退職してもなかなかのんびりできません。

そこで、放送大学での学びを活用することに致しました。

両親の介護においては「社会福祉入門」「高齢者の生活保障」など・・・町内会の仕事では「市民社会と法」・・・マンション生活に関しては、「住まい学入門」「地域と都市の防災」などで、大規模修繕計画に必要な「建築基準法」などを学ぶことができました。

放送大学での学び方は人それぞれと思いますが、私のこれまでの学びは、生活のなかで出会ったことについて学ぶ方法をとってきました。10月から3回目の入学となり、「自然と環境コース」を選ぶことに致しました。自然界を今一度のぞいてみます。

老年期に入っているため、テレビのニュースが理解できること、また五感が低下しないよう人々の集まる場所へ参加することなど、前を見ながら学べる学生でありたいと思います。

今、心にかかるのはパレスチナ問題です。これからもニュースを追って学んでゆきます。長い歴史の中で、いつ、どんな国がどんな状況に遭遇するか分かりません。

ゆとりある世界になって欲しいと願いながら、学生生活を送っています。

よろしくおねがいします。





— ご卒業おめでとうございます —



山口学習センターでは、9月30日(日)、平成30年度第1学期学位記授与式を挙りました。
教養学部 23名の皆様がご卒業されました。

- ・生活と福祉コース 7名
- ・心理と教育コース 4名
- ・社会と産業コース 3名
- ・人間と文化コース 4名
- ・情報コース 1名
- ・自然と環境コース 4名



事務室からのお知らせ

山口学習センター利用のご案内

■平成30年度第2学期の開所日・開所時間・休業日

開所日	通常	火曜～日曜	9:00 ~ 17:30
	単位認定試験	期間中	9:00 ~ 19:00
休業日	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日、祝日 ・年末年始(12/29 ~ 1/3) ・特別休業日(10/28、1/19・20、2/1・3・12・23・24、3/12) 		

■駐車場について

山口学習センター利用の際は、山口大学の駐車場が利用できます。
構内は一方通行ですので、標識や警備員の指示に従ってください。
なお、入構の際に停車を求められた場合には、学生証を提示して、
放送大学利用の意思表示をしてください。



平成 30 年度 第 2 学期面接授業について

重要!

第 2 学期の面接授業が 10 月から始まります。面接授業とは、学習センター等で他の学生と一緒に直接講師から指導を受ける授業です。1 科目 1 単位で、全科履修生は、卒業要件として面接授業又はオンライン授業の単位を 20 単位以上取得する必要があります。選科・科目履修生は必修ではありませんが、希望すれば受講することができます。

山口学習センターでは、今学期 15 科目の面接授業を開講します。科目登録申請時に登録を見送った方や新入学生の方は、定員に余裕のある科目(空席のある科目)について、科目追加登録申請ができます。

(10/24 以前に開講する科目については追加登録できません。)

■ 追加登録の流れ



空席状況の確認

空席発表日：10月17日（水）12時

- ◆ 学習センター内での掲示、放送大学ホームページでお知らせします。
- ◆ 10月24日（水）15時から、「システム WAKABA」で空席状況をリアルタイムで確認できるようになります。

受付方法の確認

- ◆ 追加登録の受付は、その科目を開講している学習センター・サテライトスペースで行います。
- ◆ 各センターで受付方法が異なりますので、希望する科目を開講しているセンターへ事前にお問い合わせください。

追加登録申請
(授業料納入)

追加登録期間：10月24日（水）～各科目の追加登録受付期限まで

- ◆ 原則として開講日の 1 週間前まで受付します（一部例外あり）。
- ◆ 追加登録完了後の科目変更・取り消しはできません。
- ◆ 2 月開講の科目については 1 月 20 日（日）までの受付です。

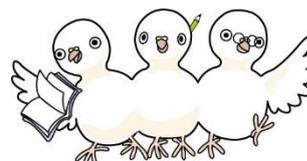
面接授業受講

- ◆ 受講が決定したら(科目登録決定通知書を受け取ったら)、当日実施会場へお越しください。
- ◆ 持参物、保険(学研災)の加入等については、面接授業時間割表や「システム WAKABA」で授業概要を必ず事前にご確認ください。

■ 山口学習センター開設科目の登録方法

<p>窓 口 (直接来所) での申請</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室窓口で、受付初日の 9 時～10 時までに来所の方を対象に抽選を行い、登録申請の順番を決定。それ以降は先着順です。(10 月 24 日午前 10 時～) ・窓口を持参するもの(代理人による申請も可) <ol style="list-style-type: none"> ① 学生証 ② 授業料(1 科目あたり 5,500 円) 
<p>郵送による申請</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・到着日の最後尾の受付になります(直接来所の方を優先します)。10 月 24 日以前に届いたものについても、24 日(水)到着分と同じ取扱いです。 ・同到着日で定員を超える場合は、職員が代理人となり抽選を行います。 ・登録できなかった場合は、<u>お送りいただいた授業料から返送の手数料を差し引いた額</u>をお返しいたします。 ・現金書留に①～④を同封して山口学習センターまでお送りください。 <ol style="list-style-type: none"> ① 追加登録申請書(面接授業時間割表巻末／ホームページからダウンロードも可) ② 学生証のコピー ③ 授業料(1 科目あたり 5,500 円) ④ 返信用封筒(宛先明記／定形サイズ／<u>82 円切手貼付</u>) 

面接授業の「共修生」募集！



■ 「共修生」とは？

全国の学習センター等で行われている本学の面接授業を聴講する方を「共修生(きょうしゅうせい)」と呼び、学生の方と共に学び、知識・教養を深めていただくものです。

一般の皆様にも、また科目登録を行っていない学生の方にも、広く聴講できる機会を設けています。

■ 授業料

1 科目につき 5,500 円(8 回分)です。1 科目は、1 時限(1 時間 25 分)の授業 8 回で完結します。実施時間は各科目により異なりますので、各学習センターで確認をしてください。

■ お申し込み方法

聴講したい科目を選び、各学習センターに空席の状況等をお問い合わせのうえご予約ください。定員に達した時点で募集を締め切りますので、早めにお申し込みください。

■ 平成30年度第2学期 山口学習センター開講科目一覧

科目区分	科目名	定員	日程	講師
-専門科目- 社会と産業	貨幣・勤労・代理人 —経済文明論—	30	10月20日(土)1~4時限 10月21日(日)1~4時限	坂井 素思 (放送大学・教授)
-専門科目- 人間と文化	◆北長門の歴史と民俗を学ぶ ※注	30	10月20日(土)1~4時限 10月21日(日)1~4時限	坪郷 英彦 (放送大学山口学習センター・客員教授) 金谷 匡人 (山口県文書館・副館長) 山田 稔 (山口県立山口博物館・学芸課長)
-専門科目- 情報	情報理論入門	45	11月10日(土)1~4時限 11月11日(日)1~4時限	野崎 隆之 (山口大学大学院・講師)
-専門科目- 自然と環境	土壌の微生物	30	11月10日(土)1~4時限 11月11日(日)1~4時限	横山 和平 (山口大学大学院・教授)
-基盤科目- 保健体育	運動と健康	40	11月17日(土)1~4時限 11月18日(日)1~4時限	曾根 文夫 (山口県立大学・教授)
-導入科目- 人間と文化	文明開化の史料を読む	45	11月24日(日)1~4時限 11月25日(日)1~4時限	池田 勇太 (山口大学・准教授)
-専門科目- 人間と文化	近・現代日本の短編小説を読む	30	11月24日(土)1~4時限 11月25日(日)1~4時限	村上 林造 (放送大学山口学習センター・客員教授)
-導入科目- 生活と福祉	運動とからだの情報ネットワーク	30	12月1日(土)1~4時限 12月2日(日)1~4時限	塩田 正俊 (放送大学山口学習センター・客員教授)
-専門科目- 心理と教育	学校現場における特別支援教育	40	12月1日(土)1~4時限 12月2日(日)1~4時限	須藤 邦彦 (山口大学・教授) 脇 貴典 (放送大学非常勤講師)
-導入科目- 人間と文化	弥生時代山口県域の鉄器文化	20	12月8日(土)1~4時限 12月9日(日)1~4時限	村田 裕一 (山口大学・准教授)
-専門科目- 社会と産業	センシング入門	45	12月8日(土)1~4時限 12月9日(日)1~4時限	田中 正吾 (放送大学山口学習センター・客員教授)
-基盤科目- 外国語	英語を通して世界を眺める 2	45	12月15日(土)1~4時限 12月16日(日)1~4時限	太田 聡 (山口大学・教授)
-専門科目- 心理と教育	心理学実験 2	30	12月15日(土)1~4時限 12月16日(日)1~4時限	小野 史典 (山口大学・准教授) 福田 廣 (山口東京理科大学・教授)
-基盤科目-	新・初歩からのパソコン	15	1月5日(土)1~4時限 1月6日(日)1~4時限	北本 卓也 (山口大学・教授)
-導入科目- 自然と環境	動物の行動と進化	45	1月5日(土)1~4時限 1月6日(日)1~4時限	小島 涉 (山口大学大学院・助教)

※注: ◆印の授業は「長門市俵山温泉閣(山口県長門市俵山)」が会場となります。

それ以外は山口学習センターが会場です。



通信指導について

放送授業科目においては、各学期の途中に一回、一定の範囲で出題される通信指導問題が出題されます。提出期限内に放送大学本部に到着するように提出してください。通信指導問題の答案を提出し、担当教員の添削指導を受けて合格しないと単位認定試験を受験することができません。

(詳細は、「学生生活の葉」P66～70、大学院 P60～64 を参照してください。)



■ 問題の送付時期

通信指導問題は、印刷教材と一緒に送付されます。(一部の科目については別に送付されることもあります。) 11月5日(月)までにお手元に届かない場合は、大学本部(Tel 043-276-5111)にご連絡ください。

■ 提出について

通信指導の提出については、一部の科目を除き、インターネット上でも行うこともできます(Web通信指導)。Web通信指導で通信指導問題の提出(送信)を行った場合には、郵送による提出は不要です。対象科目など詳細については、システムWAKABA「キャンパスライフー学習案内」をご覧ください。

■ 提出期間

郵送による提出	11月16日(金)～11月30日(金) 本部必着
Web通信指導による提出(一部科目を除く)	11月9日(金) 10:00～11月30日(金) 17:00 ※利用するパソコン及びネットワーク環境に起因するトラブルにより提出が間に合わなかった場合でも、未提出扱いとなりますので、余裕をもって提出(送信)してください。



学生証について

学生証は、単位認定試験や図書・視聴学習室の利用、面接授業科目追加登録等のために必要となります。入学生及び在学生で有効期限の切れた方は、学習センター窓口で学生証の交付を受けてください。

- ◆ 入学生……『入学許可書』をお持ちください。本人確認のうえ、学生証をお渡しします。
- ◆ 在学生……『有効期限の切れた学生証』をお持ちください。新しい学生証と引き換えます。
(なお、顔写真の登録がお済みでない方には発行できませんので、登録をお願いいたします。)

各種証明書の発行について

在学証明書、成績・単位修得証明書等の各種証明書の発行は、学習センター事務室で行っていません。証明書が必要な場合は、学生証を携行して事務室窓口にお問い合わせください。証明書の発行手数料は、一通につき200円です。なお、証明書の種類によっては、発行までに2週間程度かかりますので、十分な余裕を持って請求してください。

(詳細は、「学生生活の葉」P103～105、大学院 P87～89 を参照してください。)

単位認定試験受験センターの変更について

転勤・転居等のやむを得ない事情及び通勤・通学等地理的な関係等のために、平成 30 年度第 2 学期の単位認定試験の受験センターを変更したい場合は、下記受付期間内に「単位認定試験受験センター変更願」（「学生生活の葉」巻末様式 11、大学院は様式 10）を放送大学本部に提出、または「システム WAKABA」での提出をお願いします。ただし、試験日ごとの変更はできません。

（詳細は、「学生生活の葉」P71～72、大学院 P65～66 を参照してください。）



■ 受付期間

変更願を提出（郵送）	10月1日（月）～11月23日（金） 必着
システムWAKABAで届出（Web）	10月1日（月）～11月30日（金）

また、所属コース・専攻、カリキュラムの変更を希望する場合や、住所等に変更があり、所属学習センターを変更する場合には**必ず届出をお願いします。**

（詳細は、「学生生活の葉」P85～88、大学院 P75～81 を参照してください。）

学生教育研究災害傷害保険（「学研災」）について

「学研災」は、加入者が在籍する大学の教育研究活動中に被る事故に対する補償を目的とした保険で、全ての種類の学生が加入することができます。

保険金の支払い対象は、面接授業中や学校行事に参加している間、大学が認めた学生団体活動中、その他大学の施設内にいる間に被った事故等です。加入は任意ですが、面接授業の中には加入者を対象とする科目もありますので、ご確認ください。（面接授業時間割表の授業概要【その他（特記事項）】参照）

各学習センターで加入ができますが、**保険の効力は加入した日の翌日からとなりますので、ご注意ください。**

（詳細は、「学生生活の葉」P129～130、大学院 P110～111 を参照してください。）

■ 金額

学研災………100 円（6 年間）

- ◆通学特約 +40 円（6 年間）
- ◆付帯賠償 +340 円（1 年あたり）



— 「センターまつり」開催のご案内 —

山口学習センターでは、11月11日(日)に「センターまつり」を開催します。

内容は、サークル紹介、学生作品の展示、野菜の即売会、木の実・葉っぱクラフト、ビブリオバトルなどを予定しています。

また、コーヒー(有料)接待もあります。なお、学生作品(絵画、書道等)展示物はまだ受け付けていますので、日頃の成果を是非ご披露ください。この機会に学友同士の交流や親睦を深めてみませんか。

皆さまのご参加をお待ちしています。

(◆連絡先：山口学友同窓会 渡辺 [Email: masaru.w@chive.ocn.ne.jp](mailto:masaru.w@chive.ocn.ne.jp))



— 「同窓会忘年会」のご案内 —

山口学友同窓会の忘年会を11月に山口市で開催します。参加希望の方は、学生ラウンジに掲示している申込表に直接ご記入いただくかもしくは山口学習センターに電話で申込表への記入を依頼してください。(※申込締切：11月17日(土))

◆日時 11月24日(土)18:30～ ◆会場 翠山荘(山口市湯田温泉3丁目1-1)



◎ 公開講演会を開催します

12月9日(日)、放送大学公開講演会を“「雪舟《山水図巻》の謎」をテーマに山口学習センターで開催します。

この度、雪舟筆《山水図巻》(山口県立美術館所蔵・重要文化財)が修復・完成・展示されるのを機会に、山口学習センターではその修復の過程で明らかになった事実をもとに、下記のお二人の講師をお招きして、この「図巻の謎」に迫ります。

■講師：山口県立美術館 学芸員 荏開津 通彦氏
相国寺承天閣美術館 副館長 高橋 範子氏





2018年10月、BSで学び直しの新たなチャンネル登場！

放送大学はこれまで、単位認定を前提とした授業科目に対応した番組を放送してきました。これに加え、人生100年時代における社会人の多様な学び直しや生涯学習のニーズに応え、単位認定を前提としない、様々な学びの機会を提供するチャンネルをお届けします。

2018年9月までの放送

231ch<放送大学の授業科目のチャンネル>
※昼と夜の一部の時間帯でマルチ放送

■授業番組(単位認定を前提とした授業科目)

2018年10月からの放送

232ch<放送大学の授業科目のチャンネル>

■授業番組(単位認定を前提とした授業科目)

常時マルチチャンネル放送!

231ch<学び直しのための新しいチャンネル>

■「生涯学習支援番組(仮称)」
(単位認定を前提としない授業番組)

～実践的な知の基礎、職業的能力の向上に資する
番組により、「学び直し」のきっかけに繋げる～

※なお、2018年9月末をもって、関東地域(一部を除く)で実施している地上波(テレビ(12ch)、FMラジオ(77.1MHz/78.8MHz))による放送は終了します。

BS231ch : BSキャンパスexとは



人生100年時代における社会人の多様な学び直しのニーズに応え、実践的な知の基礎、職業的能力の向上に資する番組により「学び直し」のきっかけにつながる生涯学習支援番組(仮称)や、放送大学の魅力、放送大学での学び方を紹介する告知番組を放送します。放送大学の学生の方はもちろん、学問に興味を抱き教養を深めたい幅広い方々にご覧いただけるチャンネルであり、従来の放送大学の教育を拡張(エクステンション)して、様々な学びの機会を提供する番組を放送していくことから、チャンネル愛称を『BSキャンパス ex』と名付けました。

BS232ch : BSキャンパスonとは



これまでと同様に、放送大学に在籍する学生の授業科目の単位取得を目的に、単位認定試験に向けて計画的に授業番組を放送する(オンキャンパス)チャンネルであり、チャンネル愛称を『BSキャンパス on』と名付けました。もちろん、学生でなくても、ただ見、試し見も大歓迎です。

10月～12月のスケジュール

10月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	(20)	(21)
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 1日～ 放送授業開始
- 6日～ 大学院修士全科生第一次選考試験
- 7日 学生研修旅行
- 17日 面接授業空席発表
- 24日 面接授業追加科目開始
- 28日 閉所日（特別）



【面接授業】

- 20・21日 「貨幣・勤労・代理人—経済文明論—」
「北長門の歴史と民俗を学ぶ」

11月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	(10)	(11)
12	13	14	15	16	(17)	(18)
19	20	21	22	23	(24)	(25)
26	27	28	29	30		

- 3日 閉所日（文化の日）
- 11日 センターまつり
- 23日 閉所日（勤労感謝の日）
- 30日 通信指導提出期限（必着）



【面接授業】

- 10・11日 「情報理論入門」「土壌の微生物」
- 17・18日 「運動と健康」
- 24・25日 「文明開化の史料を読む」
「近・現代日本の短編小説を読む」

12月

月	火	水	木	金	土	日
					(1)	(2)
3	4	5	6	7	(8)	(9)
10	11	12	13	14	(15)	(16)
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

- 1日～ 第2回学生募集出願受付開始（2月28日まで）
- 23日 閉所日（天皇誕生日）
- 28日～31日 閉所日（年末）



【面接授業】

- 1・2日 「運動とからだの情報ネットワーク」
「学校現場における特別支援教育」
- 8・9日 「弥生時代山口県域の鉄器文化」
「センシング入門」
- 15・16日 「英語を通して世界を眺める2」
「心理学実験2」

■ 閉所日 ○ 面接授業 □ 単位認定試

編集後記

連日の猛暑や豪雨など異常気象でしたが体調はいかがでしょう。また、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。気候も良くなり新たなスタートです。放送大学では学生の皆様のサポートを全力で行いたいと思います。相談等がありましたらご連絡下さい。最後になりましたが今回寄稿くださった方々に心より御礼申し上げます。